



札幌市議会議員 厚別区

こじま ゆみ

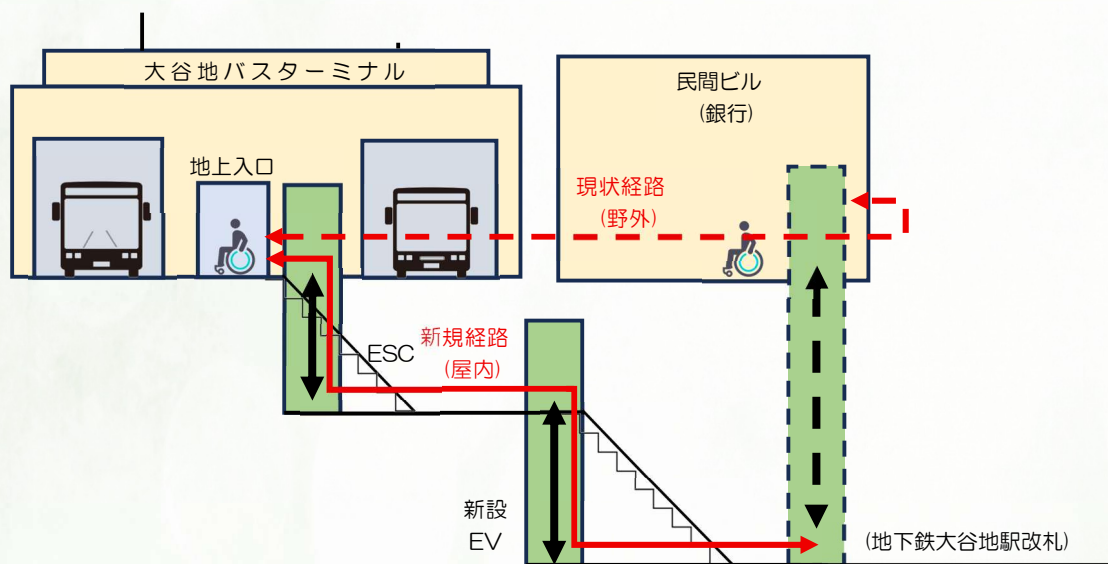
地下鉄大谷地駅・バスターミナルのエレベーター増設の新着状況

～バリアフリー経路の新設で、もっと便利に、もっと快適に～

札幌市では、公共交通機関のバリアフリー化を進める中、地下鉄大谷地駅とバスターミナルの乗り換え利便性の向上を目指して、エレベーターの増設工事を行っています。現在、地下鉄ホーム（地下2階）から地上に上がるには階段や長い移動が必要な状況です。今回の工事により、ホーム～改札～地上を一気に結ぶエレベーター2基を新設し、すべての利用者が安心・快適に移動できるようになります。

◆ 計画のポイント

- ・ バスターミナルへの屋内バリアフリー経路を新設
- ・ 11人乗りのエレベーター2基（直通・スルー型）を設置
- ・ 雨や雪の日でも安全に移動可能に



◆ 工事と予算の見直し

地中にあった通信管の移設が必要となり、建築・設備工事の完了時期を令和7年度から令和8年度へ変更します。これに伴い、令和7年度第2回補正予算で事業費の再設定を行いました。

今後も、すべての方にとって使いやすい公共交通の実現に向けて、着実に事業を進めてまいります。

韓国ニューヨーク州立大学を訪問



～グローバル教育交流の現場から～

7月3日、飯島弘之議員、山田一郎議員たちと、韓国・仁川にある「韓国ニューヨーク州立大学（SUNY Korea）」を訪問しました。

この大学は、アメリカ・ニューヨーク州立大学（SUNY）グループの中でも理工系に強い「ストーニー・ブルック大学（SBU）」と、ファッション分野で世界的に評価されている「ファッション工科大学（FIT）」の学科を誘致し、韓国国内で本格的な米国型教育を展開している機関です。

訪問では、大学関係者の案内のもと、AIやロボティクス、グローバルファッションといった先端教育プログラムについて詳しい説明を受け、主要施設を視察いたしました。とりわけ、STEM教育や国際的人材育成に力を入れている点が非常に印象的で、日本の教育施策と比較しながら多くの示唆を得ることができました。

また、仁川グローバルキャンパスにおける大学運営の仕組みや、企業との産学連携の事例、今後の展望などについても、大学のユ・ビョンユン副総長をはじめとする関係者の方々と活発な意見交換を行うことができました。

こうした交流を通じて、地域から世界へとつながる教育のあり方や国際連携の可能性について改めて考える貴重な機会となりました。

今後も、こうした視察をもとに、札幌市における教育や産学連携の施策にも活かしていきたいと考えております。